

はるどり マックスバリュ 釧路春採店

ドレン周辺部の水勾配に配慮したLCS工法



選定された理由

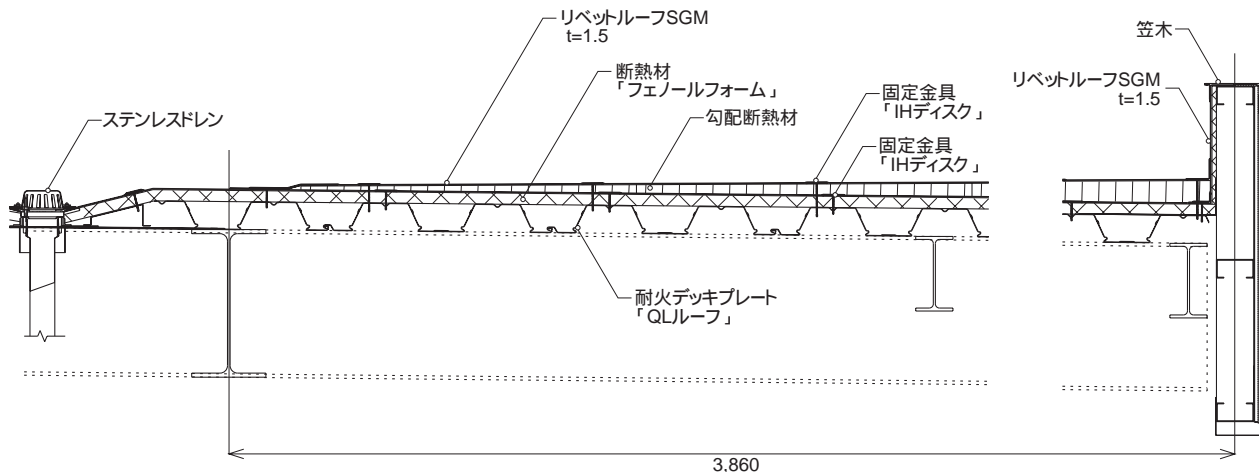
寒冷地特有の「すがもり」の心配が無く、大規模店舗に適した構造(空間の有効利用)と短期間での工事が可能な特長により、リベットルーフ防水LCS工法が採用された。

施工のポイント

ドレン周辺部の水勾配調整を行うため勾配付き断熱材を配置し、割振りを行った。

春採ショッピングセンターマックスバリュ棟

- 構造：S造
- 所在地：北海道釧路市春採
- 発注：マックスバリュ北海道株式会社
- 設計監理：株式会社マキタ設計事務所・株式会社アランキ建築設計事務所共同企業体
- 施工：西松建設株式会社・株式会社総合住建 建設共同企業体
- 施工時期：H15.7
- 防水施工：株式会社北榮ルーフ工業
- 仕様・規模：MIHFD-SGM15F :4,970m²



マックスバリュ北海道株式会社はイオングループが中核事業のひとつと位置づけ、全国展開しているマックスバリュ事業の一翼を担う企業として、北海道にてスーパーマーケットを運営している。店舗数は平成14年4月現在、道内に34店舗、うち25店舗は札幌市内への展開。本店舗立は、出店立地の特徴としている郊外型の複合ショッピングセンター。